

2023

12月号

ちょうしんきん

景況レポート

Economic Report of Sales Territory



ウレシイ  しんきん

1. 概 況

全体の景況感（全28店舗）

	好転	不変	悪化
前月と比較して	0	28	0
今後3か月程度の見通し	1	25	2

【漁業】

銚子港の令和5年11月の総水揚げ数量は3,629トンで、前年同月比+1,591トンとなった。
総水揚げ金額は1,087百万円で、前年同月比+162百万円となった。

【農業】

旭地区の以下品目の価格相場は、以下の通り。

キュウリ(A等級:秀)1本当たり	高値 34円	安値 30円
ミニトマト(Mサイズ)1パック当たり200g	高値 210円	安値 120円
シシトウ(AMサイズ)1パック当たり100g	高値 240円	安値 150円
春菊(A等級)1袋当たり150g	高値 85円	安値 65円

各品目ともに収穫量が安定し、比較的価格が減少し推移した。資材等の価格が高い状況に変化は無く、冬は燃料費も嵩んでくることから価格の推移に注視している状況である。

【商業】

昨年、全国的な不漁により1950年以降で初めてサンマの水揚げがゼロだった銚子漁港で11月17日、2021年11月以来2年ぶりにサンマが水揚げされた。

初水揚げされたのは「第37傳(でん)丸」(167トン)が15日夜に宮古沖約660キロで漁獲したサンマ。市場で1キロ当たり404円～455円で取引され、一昨年の水揚げの637円～681円を下回った。関係者によるとサイズが小ぶりで、時期が遅めだったことが響いたとみられる。








同漁船によると、漁場は銚子から遠いが、今後数日のしけが見込まれており、休息するため地元に入港した。「昨年よりも魚は見えているが(状況は)良くない」と今年の状況を説明。「この量では油代のほうが高くて大変」と船の燃料代高騰を嘆いた。天候が回復すれば再度漁に出る予定。2年ぶりの水揚げに漁協関係者は「これから船が来る可能性はある。捕れたら銚子に水揚げしてほしい」と期待した。

【観光業】

第20回黒潮よさこい祭りが11月26日、銚子市役所など市内会場で開催された。県内外から52チームの約1,700人の踊り手が集い、色鮮やかな衣装で躍動感あふれる演舞を繰り広げ、観衆を魅了した。市役所や銚子駅前のシンボルロードなど中心市街地の5会場を舞台に、チームごとに次々とパフォーマンス。気温が低めで、厚着姿の見物客も目立ったが、音楽に合わせて勇ましい掛け声や鳴子の音が響き、一帯は熱を帯びた。

同祭りは中心市街地活性化や青少年健全育成を目的に2004年から行われ、銚子の秋の風物詩となっている。

<業種別天気図>

全 体	漁 業	水産加工業	農 業	商 業
				
建設業	観光業	不動産業	養豚業	自動車
				

(前月と比較した当月の各業種の景況感を天気図で表示してみました。)



2. 主要業種別動向

■ 漁業・水産加工業

銚子港の令和5年11月の総水揚数量は3,629トンで、前年同月比+1,591トンとなった。
総水揚金額は1,087百万円で、前年同月比+162百万円となった。

勝浦港の令和5年11月の総水揚数量は266トンで、前年同月比+23トンとなった。
総水揚金額は174百万円で、前年同月比▲42百万円となった。

銚子漁港で10月17～19日の3日間、まき網漁船でサバが水揚げされた。ただ、最も数量が多い19日でも約450トンで延べ1000トンに満たない。魚体も200グラム前後の小型が中心だ。秋から冬にかけて南下する主群には程遠いが、まき網の操業範囲に漁場ができたことに「(数量は)少なくとも続いてくれれば今後を期待できる」と、関係者は切望する。北部太平洋は黒潮大蛇行の影響で、黒潮続流域が本州沿岸に沿って三陸沖まで北偏している。

昨シーズンは黒潮続流の北偏に阻まれ、銚子漁港のサバ水揚量は約3万トン。前年の3割程度へ激減した。そのため加工原料の不足が著しい。例年以上にまき網サバの漁が切望されており、浜値はキロ166～141円まで高騰した。選別で比較的大きいものが缶詰加工用に利用され、その下ははえ縄の餌、輸出などに利用される。

銚子魚市場水揚高

銚子市漁業協同組合調べ

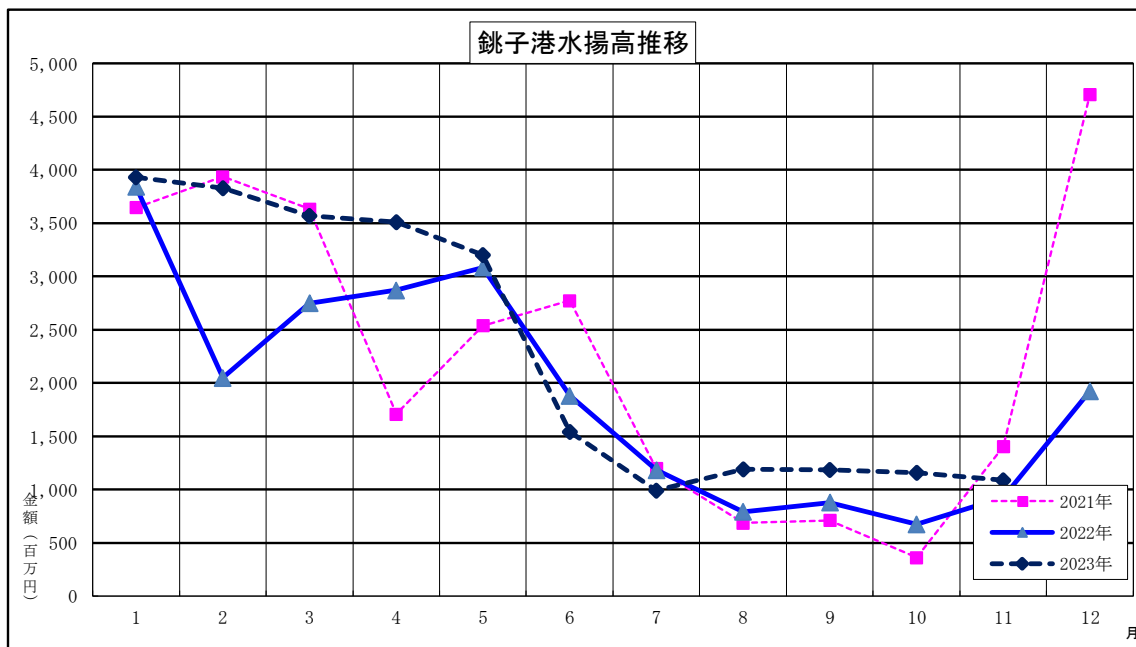
種類	数量 (トン)			金額 (千円)		
	2023年11月	前年同月	前年同月比	2023年11月	前年同月	前年同月比
鰯	62	0	62	10,414	0	10,414
鯖	2,505	424	2,081	425,795	60,216	365,579
鰹	161	0	161	38,672	0	38,672
鰹・鮪	307	280	27	319,295	315,536	3,759
(内鰹一本釣)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
秋刀魚	11	0	11	4,313	0	4,313
底曳	249	164	85	104,563	125,707	▲ 21,144
その他	334	1,170	▲ 836	184,401	423,509	▲ 239,108
合計	3,629	2,038	1,591	1,087,453	924,968	162,485

前月比	数量	77.13%
	金額	93.80%
前年同月比	数量	178.07%
	金額	117.57%



水揚日数

	2023年11月	2023年10月	2022年11月
鰯	5日	3日	0日
鯖	9日	8日	3日
鰹	5日	7日	0日
鰹・鮪	20日	15日	17日
(内鰹一本釣)	0日	1日	0日
秋刀魚	2日	0日	0日
底曳	20日	22日	19日
その他	23日	23日	24日



■ 農 業

旭地区の以下品目の価格相場は、以下の通り。

キュウリ(A等級:秀)1本当たり 高値 34円 安値 30円
 ミニトマト(Mサイズ)1パック当たり200g 高値 210円 安値 120円
 シシトウ(AMサイズ)1パック当たり100g 高値 240円 安値 150円
 春菊(A等級)1袋当たり150g 高値 85円 安値 65円

各品目ともに収穫量が安定し、比較的価格が減少し推移した。資材等の価格が高い状況に変化は無く、冬は燃料費も嵩んでくることから価格の推移に注視している状況である。

横芝光町特産のひかりねぎの相場は1箱(5kg)3,200円～3,700円で取引された。

銚子地区のキャベツ、大根の価格相場は、以下の通り。

キャベツ 1箱当たり 買値 650～700円 売値1,000円
 大根 1箱当たり 買値 400～500円 売値700～800円

売値、買値ともに例年通りで推移。暖冬の影響もあり不作となっていたが、天候が良好になるにつれ、収穫量は徐々に増えてきている。

■ 商 業

昨年、全国的な不漁により1950年以降で初めてサンマの水揚げがゼロだった銚子漁港で11月17日、2021年11月以来2年ぶりにサンマが水揚げされた。

初水揚げされたのは「第37傳(でん)丸」(167トン)が15日夜に宮古沖約660キロで漁獲したサンマ。市場で1キロ当たり404円～455円で取引され、一昨年の水揚げの637円～681円を下回った。関係者によるとサイズが小ぶりで、時期が遅めだったことが響いたとみられる。

同漁船によると、漁場は銚子から遠いが、今後数日のしけが見込まれており、休息するため地元に入港した。「昨年よりも魚は見えているが(状況は)良くない」と今年の状況を説明。「この量では油代のほうが高く大変」と船の燃料代高騰を嘆いた。天候が回復すれば再度漁に出る予定。2年ぶりの水揚げに漁協関係者は「これから船が来る可能性はある。捕れたら銚子に水揚げしてほしい」と期待した。

千葉県銚子市の千葉県立銚子商業高校の生徒が、練り物製造・販売の市内老舗「嘉平屋」と連携し、銚子の夜空をイメージした揚げかまぼこ「ムーンナイトボール」を開発した。ウズラの卵とトウモロコシ、チーズを入れて月と星を表現。魚のすり身の生地はイカスミで黒く色づけし、夜を思わせる見た目にした。市内で販売が始まった。

商品開発は地域活性化を図る同校の「銚子商夢市場プロジェクト」の一環で取り組んだ。嘉平屋との連携商品は、銚子の日の出をイメージして今年春から販売中の「サンライズボール」に続く第2弾。

同校でメディア向けの披露会が開かれ、生徒は「銚子をイメージした商品なので地元や観光客に愛される商品になってほしい。銚子の活性化にもつながってくれたらうれしい」と説明。嘉平屋も「高校生の柔軟な発想で、非常にいい商品になった」と手応え。

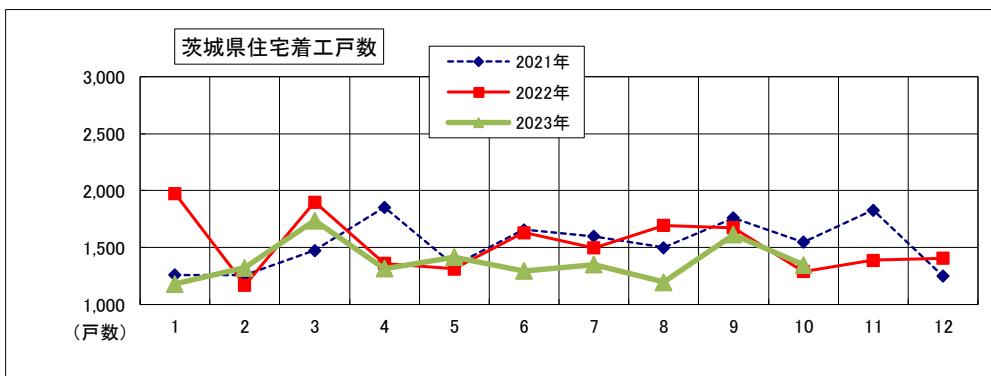
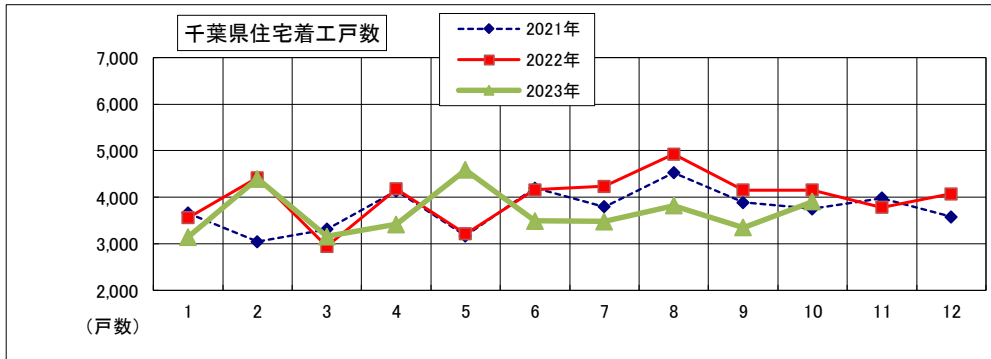
ムーンナイトボールは1個130円(税込み)。市内の嘉平屋3店舗で扱う。

■ 建設業

令和5年10月の住宅着工戸数は、千葉県で3,905戸と前年同月比94.01% (▲249戸)、茨城県では1,348戸で前年同月比104.58% (+59戸)となった。
 前回報告月(令和5年7月)比では、千葉県で+426戸、茨城県では▲3戸となった

千葉県・茨城県の住宅着工推移は以下のとおり。

	2023年10月	2023年7月	増減
千葉県	3,905	3,479	426
茨城県	1,348	1,351	▲ 3



国土交通省統計情報より

■ 観光業

第20回黒潮よさこい祭りが11月26日、銚子市役所など市内会場で開催された。県内外から52チームの約1,700人の踊り手が集い、色鮮やかな衣装で躍動感あふれる演舞を繰り広げ、観衆を魅了した。市役所や銚子駅前のシンボルロードなど中心市街地の5会場を舞台に、チームごとに次々とパフォーマンス。気温が低めで、厚着姿の見物客も目立ったが、音楽に合わせて勇ましい掛け声や鳴子の音が響き、一帯は熱を帯びた。

同祭りは中心市街地活性化や青少年健全育成を目的に2004年から行われ、銚子の秋の風物詩となっている。

9月の台風13号で大きな被害を受けた養老溪谷(市原市、大多喜町)で11月22日に、栗又の滝へ向かう降り口の通行止めが解除された。紅葉の時期に滝見学や周辺散策を楽しめるようになった。

スロープになっている降り口は、台風の大雨で路盤の土砂が流出。コンクリートを入れて補強する復旧作業を行い、通行できるようにした。ただ、滝つぼ周辺には崖崩れによるものとみられる大きな岩や木々が転がったまま。下流への遊歩道も基礎ごとなくなるなどして100メートル先で折り返すようになっている。

同町商工観光課は「完全復旧には費用も時間も相当かかる」と話す一方、紅葉シーズンに合わせて滝周辺の散策が可能になり「観光客のおもてなしや観光業支援のためにも、ある程度復旧できてよかった」と胸をなでおろす。

溪谷では滝や観音橋など5か所で夜間ライトアップがされ、一部区間で運休していた小湊鉄道は23日から祝日、土日を中心に養老溪谷駅を含む全線で運行を再開した。

■ 不動産業

千葉市内においては商品数の減少、都内企業の進出による商品価格の高騰が継続。資材の値上がりもあり建売販売の利幅減少が顕著であり、土地のみでの販売が増加。

流山、松戸を中心に県内西部の任期は依然として高く、市場も活発に動いている。

茂原市では、コロナ禍でのリモートへの勤務形態の変化から、東京より1時間程度・中古物件の相談は多いものの、扱う物件の数は不足している。

9月大雨被害から、水没しなかった地区への転居の需要や高台にある物件の需要が高まっている。

■ 養豚業・畜産業

令和5年11月の東京市場での豚枝肉(上)卸売価格相場は519円/kg(速報値)となり、前年同月比で▲46円/kgとなった。

鶏卵(Mサイズ)卸売価格は254円/kgとなり、前年同月比で▲8円/kgとなった。

独) 農畜産業振興機構 / J A全農たまご(株) 統計情報より

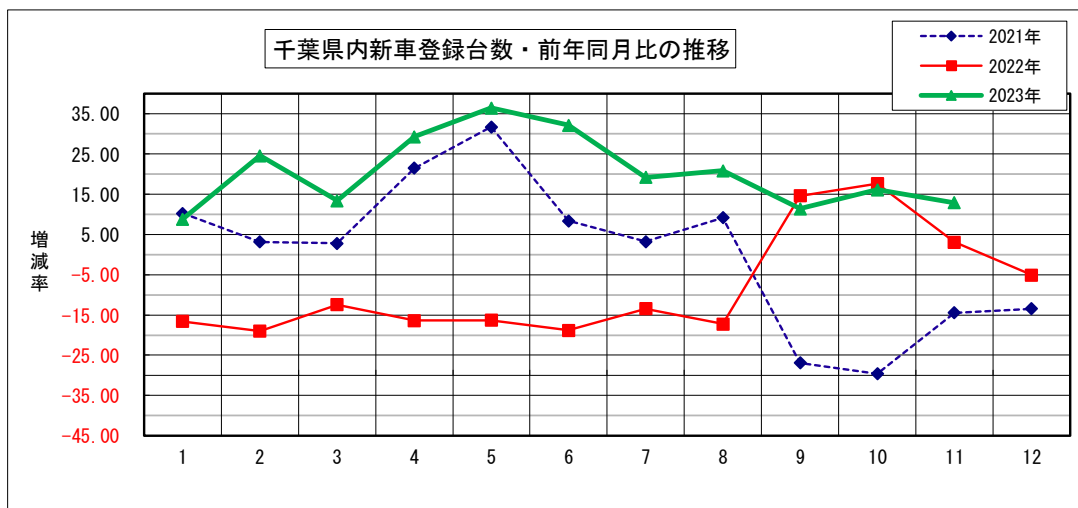
■ 自動車ディーラー

令和5年11月における千葉県内の登録車新車販売台数(軽自動車除く)は前年同月比12.9%増の12,065台(前年同月10,684台)と、11カ月連続で前年実績を上回った。

占拠率は1位がトヨタ(49.7%)、2位はホンダ(13.9%)、3位は日産(9.1%)となった。

千葉県内新車登録台数状況(軽自動車を除く)

		2023年11月	前月	前月比	前年同月	前年比
乗用	普通	7,070	6,884	102.70%	5,569	126.95%
	小型	3,495	3,151	110.92%	3,556	98.28%
	小計	10,565	10,035	105.28%	9,125	115.78%
貨物	普通	430	422	101.90%	516	83.33%
	小型	752	733	102.59%	717	104.88%
	小計	1,182	1,155	102.34%	1,233	95.86%
特殊等	特殊	275	250	110.00%	314	87.58%
	バス	43	40	107.50%	12	358.33%
	小計	318	290	109.66%	326	97.55%
総合計		12,065	11,480	105.10%	10,684	112.93%



一社) 日本自動車販売協会連合会 千葉県支部調べ

3. その他の動向

求人

有効求人倍率

(単位：倍、増減はポイント)

	2023年10月	前月	増減	前年同月	増減
銚子公共職業安定所管内	0.85	0.86	▲ 0.01	0.94	▲ 0.09
茂原公共職業安定所管内	0.76	0.78	▲ 0.02	0.92	▲ 0.16
いすみ公共職業安定所管内	0.93	0.97	▲ 0.04	1.07	▲ 0.14
成田公共職業安定所管内	1.06	1.06	0.00	0.97	0.09
佐原公共職業安定所管内	0.74	0.78	▲ 0.04	0.85	▲ 0.11
千葉県	1.01	0.98	0.03	1.03	▲ 0.02

有効求人倍率＝有効求人数÷有効求職者数

ハローワーク銚子/茂原/いすみ/成田/佐原 調べ

倒産

【令和5年11月度】

2023年(令和5年)11月度の企業倒産件数は25件、前月比4件(13.7%減)、前年同月比3件増(13.6%増)となり、過去10年(2014年以降)の11月単月では2番目に多い件数となった。

負債総額は16億5400万円、前月比117億5000万円減(87.6%減)、前年同月比では12億8700万円減(43.7%減)となった。過去10年の11月単月では最も少ない金額で、小規模な倒産に終始した月となった。

産業別では『建設業』と『卸売業』が各6件(構成比各24.0%)で最多となった。

資本金別では『300万円以上(1000万円未満)』が13件(構成比52.0%)で最多、次いで『1000万円以上(3000万円未満)』が6件(構成比24.0%)となった。

従業員別では『5名未満』が17件(構成比68.0%)で最多となった。

原因別では『業績不振』が24件(構成比96.0%)で最多。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて倒産した「新型コロナウイルス関連倒産」については8件発生、負債10億円を超える大型倒産は発生しなかった。

倒産形態別では『破産』が24件(構成比96.0%)で最多、再生型の法的手続きは発生しなかった。

新型コロナウイルス感染症の影響は収束し、社会経済活動はコロナ禍前の日常を取り戻している。日経平均株価は高水準を維持し、訪日外国人数もコロナ禍前の水準にまで回復、円安やコロナ禍の反動からインバウンド需要も堅調だ。

しかし、その一方でウクライナ情勢や中東情勢の悪化、中国の大手不動産開発業者の相次ぐ経営破たん、スリランカやガーナなど途上国のデフォルトなど、地政学リスクが増大しているうえ、歴史的円安が深刻な物価高を引き起こし、さらに人手不足と最低賃金引上げによる人件費の高騰が価格転嫁に苦慮する中小企業の収益を大きく圧迫している。

岸田政権は経済対策5本の柱(物価高対策・持続的な賃上げ・国内投資促進・人口減少対策・国土強靱化)を表明し、来年6月をめどに国民1人あたり4万円の所得減税を打ち出した。しかし、一時的な所得減税は深刻な物価高への対応とはなり得ず、また、持続的な賃上げについても適正な価格転嫁が進まなければ実現可能な中小企業は限られ、さらに深刻な人手不足が続くなか、人口減少対策を待つだけの時間的余裕もない。

とくに建設業や運輸業においては2024年問題(時間外労働時間の上限規制)への対応も深刻だ。東京商工リサーチが実施したアンケート調査では2024年問題で「マイナスの影響が生じる」と回答した企業(建設業・運送業)は70%を超え、建設業、運輸業以外の業種でも半数以上の企業が「マイナス」と回答。物流や建設コスト増加による利益率の悪化など、さらなるコストアップを懸念する声が多く聞かれた。

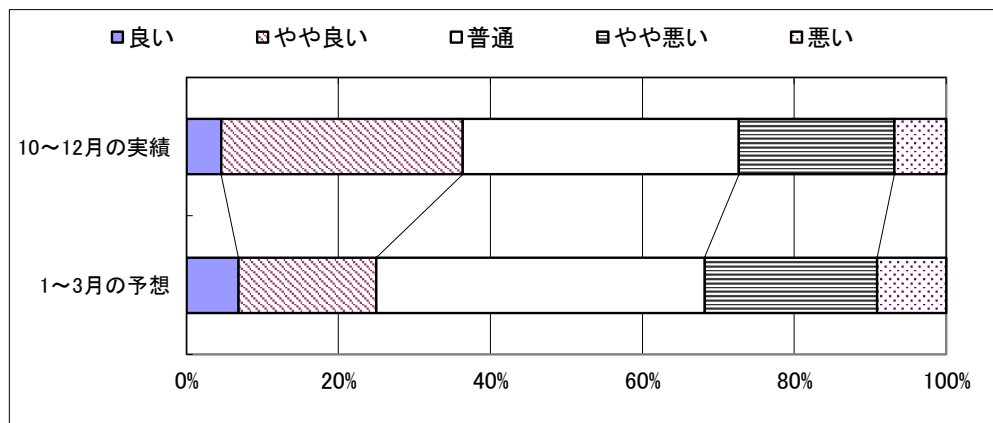
2023年度の企業倒産件数は10月時点で既に前年度の年間件数を上回っている。コロナ支援が終わり、調達から返済への移行が進むなか、業績回復の遅れから借入金の返済原資が捻出できず、息切れする中小企業が増加しているものとみられる。グローバル化がもたらす恩恵が大きければ、その分、損害も大きなものとなる。政府による財政政策に大きな期待ができず、日銀による金融政策の効果も限定的で、グローバル化の負の部分が先行きの不確実性を高めつつある。物価高に対する価格転嫁や人手不足問題が解消されない限り、企業倒産が抑制される要素は少なく、当面は現行水準もしくは現行水準を上回る企業倒産が続くものとみられる。

(株)東京商工リサーチ・千葉県内企業倒産状況より

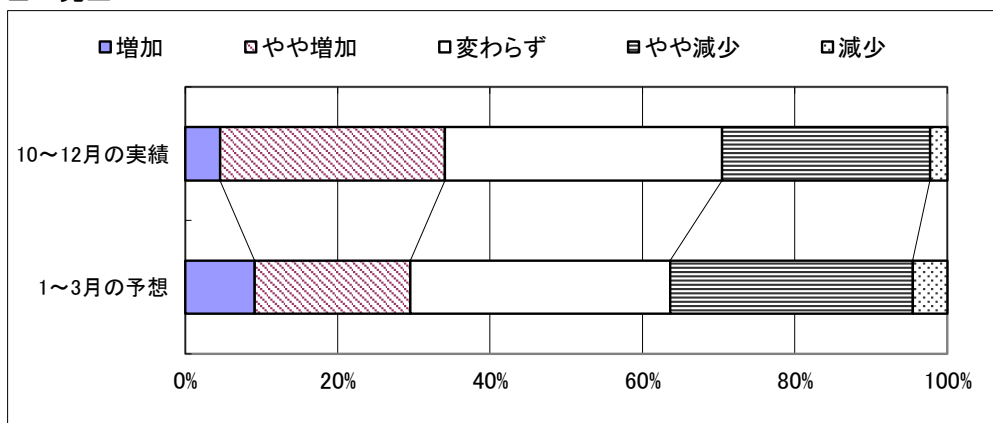
特集 第194回全国中小企業景気動向調査 当金庫分集計速報

本調査は全国各地の信用金庫において、年4回、四半期ごとに対象先企業の景気動向を聴き取り調査し、信金中央金庫が分析・集計しているものです。
 当金庫の対象先は営業店23店舗の顧客48先で、内訳は製造業19先、卸売業8先、小売業7先、サービス業4先、建設業6先、不動産業4先となっています。全国の集計結果は後日公表されますが、今回は12月初旬に行った当金庫の調査対象先の集計を、速報として掲載します。

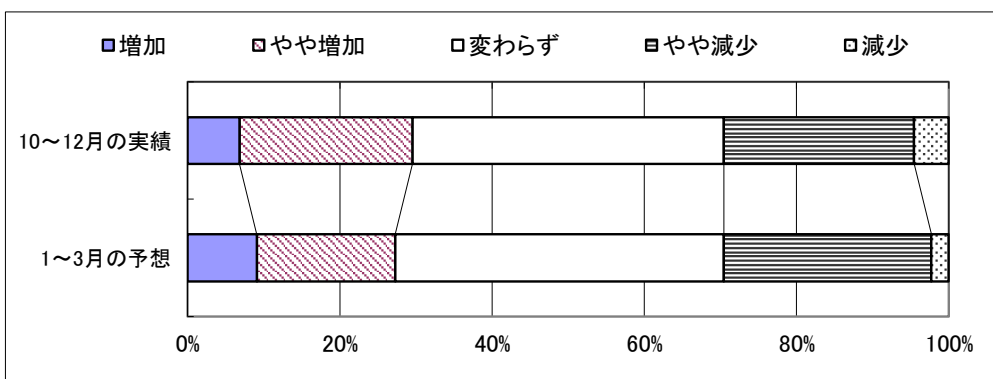
■ 業況



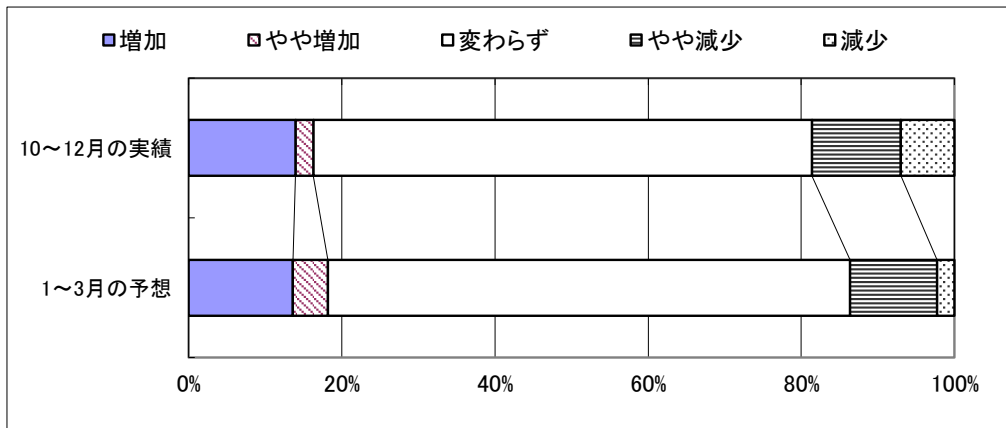
■ 売上



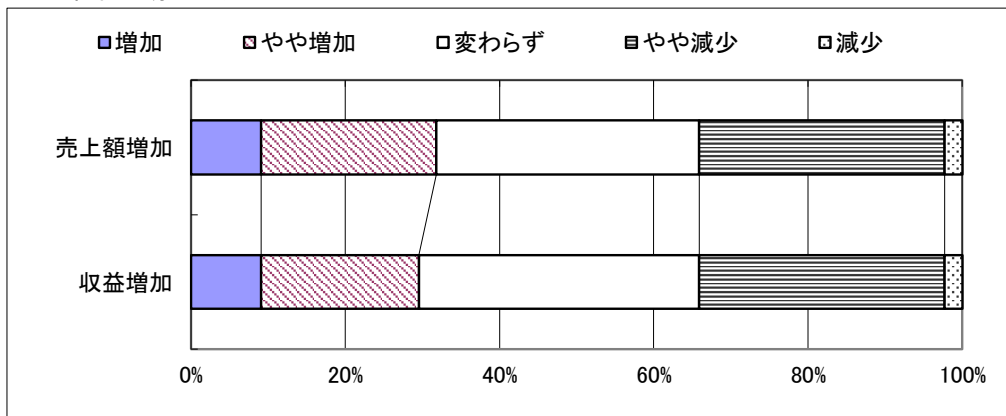
■ 収益



■ 資金繰り



■ 昨年同期比の売上・収益



経営上の問題点（業種別上位項目）

製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
<ul style="list-style-type: none"> ■ 原材料高 ■ 売上の停滞・減少 ■ 人件費の増加 ■ 人件費以外の経費の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人件費の増加 ■ 売上の停滞・減少 ■ 合理化の不足 ■ 利幅の縮小 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 売上の停滞・減少 ■ 人手不足 ■ 同業者間の競争の激化 ■ 利幅の縮小 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 売上の停滞・減少 ■ 人手不足 ■ 人件費の増加 ■ 利幅の縮小 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 材料価格の上昇 ■ 売上の停滞・減少 ■ 人手不足 ■ 利幅の縮小 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 同業者間の競争の激化 ■ 売上の停滞・減少 ■ 商品物件の高騰 ■ 商品物件の不足

当面の重点経営施策（業種別上位項目）

製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
<ul style="list-style-type: none"> ■ 販路を広げる ■ 人材を確保する ■ 経費を節減する ■ 機械化を推進する 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 販路を広げる ■ 経費を節減する ■ 人材を確保する ■ 情報力を強化する 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 経費を節減する ■ 売れ筋商品を取扱う ■ 品揃えを改善する ■ 宣伝・広告を強化する 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 経費を節減する ■ 宣伝・広告を強化する ■ 人材を確保する ■ 販路を広げる 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人材を確保する ■ 技術力を高める ■ 情報力を強化する ■ 販路を広げる 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 経費を節減する ■ 情報力を強化する ■ 宣伝・広告を強化する ■ 販路を広げる

!! ちょうしんきん フードロス撲滅大作戦 !!

ご家庭で眠っている食品をご提供ください

ちょうしんきん フードドライブ

銚子信用金庫では、食品ロスの削減や貧困解決などの社会的課題の解決にむけたSDGsの取り組みとして、家庭などで活用されていない食品を持ち寄り、地域のフードバンク団体を通じて食の支援が必要とされる方に届けるフードドライブ活動を実施しますので、皆様もぜひご参加ください!

フードドライブとは

ご家庭で眠っている食品をご提供いただき、地域の食支援団体「フードバンク」等を通して、被災者・高齢者・貧困者・子ども食堂・福祉施設等の必要とする方々へ寄付する活動です。食を通じた分かち合いをすすめる食品ロスを削減する取り組みです。

実施日

2024年2月10日(土)
10:00~16:00

受付場所

イオンモール銚子
2階 しょさいプラザ

寄付いただきたい食品



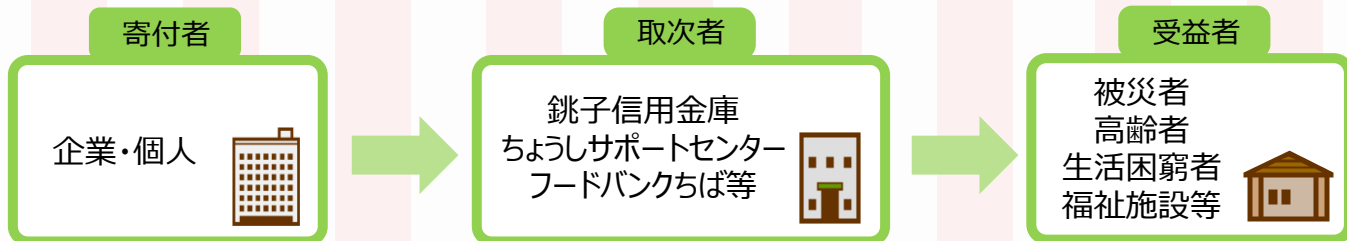
- ◆お米、麺類(パスタ・そうめん)、防災食
- ◆保存食品(缶詰、瓶詰、乾物)
- ◆インスタント食品(カップ麺、パックご飯、レトルトカレー)
- ◆お菓子、飲料、調味料、食用油
- ◆ベビーフード・ミルク
- ◆ギフトパック(お歳暮・お中元等)


注意いただきたい点



- ◆賞味期限が明記され、かつ2ヶ月以上あるもの
- ◆常温で保存が可能なもの
(魚、肉、生野菜などの生鮮食品、冷凍・冷蔵食品は受け付けておりません)
- ◆未開封であるもの
- ◆破損で中身が出ていないもの
- ◆お米は前年度産(今回は令和4年度産のみ(玄米可))
- ◆アルコール類(お酒、みりんなど)は受け付けておりません

● 寄付いただいた食品の流れ



 ウレシイ 主催：銚子信用金庫

後援：銚子市・千葉科学大学・銚子市社会福祉協議会・ちょうしサポートセンター・フードバンクちば

創業者インタビュー ~Founder's Voice~

これまでの経験、お仕事は？

私は平成二十二年頃まで銚子市内の食料品製造・販売会社等で接客や調理、事務等を担当しておりました。

元々、私や家族には卵アレルギーがあったことから、独学でマクロビオティックを通じて体に良い食事、栄養について学び、家庭での食事に活かしておりました。その頃から自分達以外にも食品アレルギーを持つ方やアレルギーを持つお子様がいらっしゃる親御さんが困っているという話を耳にすることが増え、その方々が「安心して美味しく食べる」ことができる「食品を提供したい、役に立ちたい」という想いが高まり、マクロビオティック・マクロビオティックスイーツの資格を習得した後、令和二年九月に弁当屋「natural cafe magocoro」をオープンいたしました。

また、ヨガインストラクターの資格取得をし、発酵食品等を使用したお弁当の提供と運動指導(ヨガ)を行うことにより、食事と運動の両面から健康づくりのお手伝いを心掛けてまいりました。

※マクロビオティックとは…人と生き物と環境のバランスを保ちながら、健康の根源を支えるものであり、ストレスの緩和と栄養のバランスを大切に、正しい生活と食事から健康を維持、体質を改善するものです。



新しい事業を始めようと思った動機や今後の展望は？
(酵素浴・酵素カフェ)

私が生まれ育った銚子市は残念ながら、千葉県内では健康寿命がワーストとなっており、以前、平均寿命と健康寿命の差が男性で約九年、女性で約十三年というデータもあるということを知りました。この差が大きいほど日常生活に制限のある「不健康な期間」が長いことになり、こうした状況を体の外側(酵素浴による免疫力アップ)と内側(体に良い食品から得られる栄養の摂取)の両面からサポートをしていきたいと考えました。

また私自身が酵素浴を利用し、酵素浴で期待される効果(免疫力アップ・肌の保湿・冷え性や肩こりの改善・腰痛・アレルギー症状の緩和等)を十分に実感していることから、健康寿命がワーストである銚子市と酵素浴で期待される効果との親和性は高いものと考えました。

これまでの経験を活かし、「食事」や「運動」、「酵素浴」により健康づくりに目を向けた経営を目指し、商品やサービスの提供を通じて、お世話になってきた地域やその方々に貢献してまいりたいと考えております。

マクロビで地域の健康寿命を伸ばしたい

若山 みどりさん

Midori Wakayama



↑海上でのSUP YOGA(サップ ヨガ)の様子

店舗地図はこちら

店舗情報

千葉県銚子市犬若 11295-8

TEL:090-4928-4142

H P:<https://healing-sea.com>

Instagram:healing.sea.choshi



※酵素浴の利用は予約制となります。

銚子市漁業協同組合
銚子商工会議所
株式会社 東京商工リサーチ
国土交通省 統計情報
一般社団法人 日本自動車販売協会連合会 千葉県支部
独立行政法人 農畜産業振興機構
JA全農たまご 株式会社
株式会社千葉日報社
株式会社水産経済新聞社
ハローワーク銚子
ハローワーク茂原
ハローワークいすみ
ハローワーク成田
ハローワーク佐原
(順不同)

※ その他掲載データは当金庫独自の調査によるものです。

発行；銚子信用金庫
編集；地域サポート部
住所；〒288-8686 銚子市双葉町5-5
電話；0479-21-5522
FAX；0479-24-4591
E-mail；suishin@choshi-shinkin.co.jp
URL；http://www.choshi-shinkin.co.jp



ちょうしんきん 相談会・セミナーのご案内



ちょうしんきんでは、(一社)千葉県中小企業診断士協会と連携した経営相談会や、千葉県事業承継・引継ぎ支援センターと連携した事業承継に関する個別相談会を、営業エリア内の各地で開催しています。

また、法律や税務等に関する無料相談会を本店で毎月開催しています。いずれも、ご参加・ご相談は無料です。お気軽にご参加ください。

経営相談会

- ◆2023年6月21日(水) 開催場所:本店
- ◆2023年8月16日(水) 開催場所:旭中央支店
- ◆2023年10月18日(水) 開催場所:東金支店
- ◆2023年12月20日(水) 開催場所:夫原支店
- ◆2024年2月21日(水) 開催場所:神栖支店

事業承継に関する個別相談会

- ◆2023年7月12日(水) 開催場所:夫原支店
- ◆2023年9月13日(水) 開催場所:神栖支店
- ◆2023年11月8日(水) 開催場所:本店
- ◆2024年1月10日(水) 開催場所:旭中央支店
- ◆2024年3月13日(水) 開催場所:東金支店